

質モ風味モ亦たうのいも本然ノモノト異ラヌ様ニナル武州石神井村シキヅキノ一農婦ハ「やつがしらいもカラたうのいもニ變ズルコトハ之レアレドモ其反對ニたうのいもカラやつがしらいもニ復歸スルコトハ未ダ曾テ見タコトガナイ」ト私ニ話シタ而シテ時ニ吾人ノ眼前ニ開展セルやつがしらいも園中ニハ點々其變ジタたうのいもガ交ッテ居ッタノヲ見タ此變ジタたうのいもハ悉ク皆其年ノ春ニやつがしらいもノ仔莖コイモヲ栽エタモノデアアル

●いなりさうはいなり山ヨリノ名ナリ あかね科ノ一多年生小草ニいなりさうト云フモノガアツテ學名ヲ *Pseudopyxis depressa* Miq. ト稱ヘル此種名ノ *depressa* ハ上カラ壓シツブサレタ意デ此草ハ其莖ガ短矮デ

葉ガ大キク且平開シテ其狀ガ地面ニ壓着セラレタ様ニ見ユルカラ此名ヲ得タモノデアアル此いなりさうノ名ハ伊藤圭介先生ニヨレバ此草ハ原ト無名デアッタガ往年尾州ノ花戸ノ九兵衛ト云フ者ガ伊勢ノ菰野ノいなり山デ創メテ檢出シ此名ヲ附ケタモノダト言ヒ傳ヘラレテ居ルトノコトデアアル又別ニよつばぐさとモよつばはこべトモ稱スルガ是レハ其對生セル葉ガ四枚程四方ニ擴ガツテ居ルカラデアアル

●さぼてんノ名義

小野蘭山ノ本草綱目啓蒙卷三石鹼ノ條下ニ「サボテント云草ハ秘傳花鏡ノ仙人掌ナリ此レモタハミニ油ノツキタル時此物ヲ横ニ切テ磨スレバ油ヲスイトルニ依テシヤボント云フヲ轉ジテ俗ニサボテシト云フ皆本條ノシヤボンヨリ出タル名ナリト云フ」トアル尙ホ同條ニ「白豆シロアヅキヲ細末ニシテ澡豆アラヒコニ用ユルユヘ白豆ヲシヤボンマメトモ云」ト出テ居ル、さぼてんハ此類中デ一番早ク我邦ニ渡來シタ *Opuntia* 屬ノ一種ノ名デ此類ノ總名デハナイガ近頃ノ人ハ之レヲ總名ノ意味ニ思ツテ居ッテ却テ本當ノさぼてんヲ知ラヌモノガ多イ

○雜件

●本誌第四號ノ正誤 ○89頁四行 思フテ思ルカラ ハ 思フテ居ルカラ ノ誤

●本誌第五號ノ正誤 ○表紙 谷間ハ谷間ノ誤 ○17頁八行並ニ九行ノ谷間ノ姫百合ハ谷間の姫百合ナリ ○

121頁圖ノ右側(右)ハ(左)ハ(右)ノ誤○笹岡久彦氏「蘇類植物ノ新和名」中ノ訂正○119頁 Anomodon
 Anomobryum 同頁 laterarioides ヲ lateralioides 同頁 refractum ヲ retractum ノ誤○同頁及120頁 未發表品
 ノ字皆削ル○同頁 たけながこげハたけながこげノ誤○該稿ノ時ノ未發表品ハ其後岡村博士左ノ論文ニテ發表
 セラントリ Sh. OKAMURA, Contributions novae ad Floram Bryophyton Japonicam, Paris secunda (Journ. Coll.
 Sc. Imp. Univ. Tokyo, Vol. XXXVIII. Art. 4, 1916.)

●本誌第七號ノ正誤 ○170頁左ヨリ三行 山振ト云ヒ ハ 山振ト書キ ノ誤

●本社ノ移轉 植物研究雜誌社ハ過般東京市小石川區戸崎町三番地牧野富太郎方へ移轉シタリ

●主筆ノ轉居 主筆牧野富太郎ハ先般東京市小石川區戸崎町三番地へ轉居シタリ

●本誌ノ發行日ハ今ハ不定デアルガ追々ハ定期ニスルコトヲ期シテ居ル又時々其月ヨリ後レテ出版スルコトアルガ是レハ止ムヲ得ヌ事情ガアルカラデアル然シ一年間ニハ必ズ十二號冊ヲ出スコトヲ實行スベキヲ此ニ聲言シテ置ク

●本誌發刊以來幸ニ四方諸賢ノ歡迎ヲ受ケ第一號第二號ノ兩冊ハ疾ニ賣切レテ仕マツタガ先頃兩號トモ再印刷ニ附シ既ニ製本ガ出來キ居ルカラ何時ニテモ初號ヨリ取揃ヘ購讀ノ御下命ニ應ジ得ベキコトノナツタ

●用紙ノ改良 本誌ハ發刊以來雜誌ノ用紙トシテハ比較的良質ノモノヲ使用シ來リタルガ第七號カラハ更に上質ノ紙ヲ撰ビテ今後之ヲ使用スルコトニシタ元來本誌ハ今尙ホ每號經濟上收支相償ハズニ出版ヲ強行シテ居ルガ今回斯ク用紙ヲ改良シタ爲メニ更に費用ノ負擔ガ加重シタ加之頃日一般物價ノ暴騰ニ連レテ紙代ノミナラズ印刷費モ亦前日ニ比スレバ二割以上ニ高クナツタコトナ困難ナ時ニ際シテ本誌ハ益收支相償ハザルニ關ハラズ思ヒ切ツテ此ノ如キ良紙ヲ用キルコトヲ斷行シタノハ一ニ本誌ノ文字并ニ圖畫ヲシテ一層鮮明ナラシメンガ爲メニ外ナラヌノデアル●右ノ如キ事情モアリ且ツ帳簿整理ノ必要モアルカラ前金未納ノ購讀者諸君ハ此際滞リナク御拂込ミ下サレテ滑カニ本誌ノ出版ノ出來ル様御助勢ノ程ヲ偏ニ懇願スルノデアル 牧野富太郎敬白

●本社ノ希望 實際ニ食用ニ供シ居ル山野ノ植物ヲ本誌ニ登載シタケレバ之ニ關スル各方ヨリノ通信ヲ希望ス通信ニハ其實際ニ行ハレ居ル食法ヲ附記セラレンコトヲ望ム通信採録ノ雜誌一冊ハ其通信者ニ進呈スベシ